

2026 年 2 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社マーケットエンタープライズ
代表者名 代表取締役社長 小林 泰士
(コード：3135、東証プライム)
問合せ先 常務取締役 今村 健一
(TEL. 03-5159-4060)

2026 年 6 月期 通期業績予想の修正に関するお知らせ

当社は、最近の業績の動向等を踏まえ 2025 年 8 月 14 日公表の 2026 年 6 月期（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）通期業績予想を下記のとおり修正することとしましたので、お知らせいたします。

記

1. 当期業績予想数値の修正（2025 年 7 月 1 日～2026 年 6 月 30 日）

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
前回発表予想 (A)	30,000	1,100	1,050	650	121 円 46 銭
今回修正予想 (B)	26,900	180	130	10	1 円 87 銭
増減額 (B - A)	△3,100	△920	△920	△640	
増減率 (%)	△10.3	△83.9	△87.6	△98.5	
(ご参考)前期実績 (2025 年 6 月期)	24,771	625	684	484	90 円 75 銭

2. 修正の理由

〔売上高〕

モバイル通信事業において、当第 1 四半期会計期間に発生した広告宣伝効率低下の影響が長期化しており、当中間連結会計期間における新規回線契約獲得数は期初計画の 7 割程度に留まっております。この結果、同セグメント売上高は期初予想を 2,400 百万円下回る見込みです。

また、ネット型リユース事業において、買取依頼数は順調に確保できた一方、オートメーション化をはじめとする仕入対応能力の拡大が遅延しており、同セグメント売上高は 700 百万円下回る見込みです。

以上の結果、通期業績予想における連結売上高は期初予想を 3,100 百万円下回る見込みです。

〔営業利益および経常利益、親会社株主に帰属する当期純利益〕

上記のとおり、モバイル通信事業の減収は主に新規回線契約獲得数に連動するショット型収入の減少に起因するものであり、同収入は対応する原価を持たないため売上総利益の減益に大きく影響し、広告宣伝費をはじめとする販管費の適切なコントロールに努めているものの減益幅を賄うには至らず、営業利益は 920 百万円、経常利益は 920 百万円、親会社株主に帰属する当期純利益は 640 万円、それぞれ期初予想を下回る見込みです。

(注記事項)

業績予想は現時点で入手可能な情報に基づいておりますが、実際の業績は今後様々な要因により予想数値と異なる可能性があります。

以上